

医療倫理学特論

[講義] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《履修上の留意事項》平日のみの開講。
日程調整のため履修登録前に必ず担当者に連絡すること。

《担当者名》森元良太 ryota@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

医療従事者として必要不可欠な倫理学の基本事項を習得する。前半では倫理学の基本的な内容、後半では応用的な内容について学ぶ。

【学修目標】

1. 倫理的な判断能力を習得するため、倫理学の基本事項を自分の言葉で説明できる。
2. 医療現場において必要となる倫理学の応用的な内容を説明できる。
3. 医療従事者の研究において必要となる倫理学の応用的な内容を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～5	規範倫理学	倫理学の対象と課題 義務論 功利主義	森元良太
6～10	医療倫理	障害概念 ノーマライゼーション QOL インフォームド・コンセント	森元良太
11～15	研究倫理	人を対象とする研究倫理 臨床試験の倫理 調査研究に伴う倫理的配慮 研究発表の倫理と不正	森元良太

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用
授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

期末レポート100%により評価する。レポートは授業中に明示するルーブリック評価表にもとづいて厳格に評価する。なお、ルーブリック評価については授業中に解説する。

【参考書】

加藤尚武 著 「現代倫理学入門」 講談社 1997年
赤林朗 編 「入門・医療倫理」 勁草書房 2005年
神里彩子・武藤香織 編 「医学・生命科学の研究倫理ハンドブック」 東京大学出版会 2015年

【備考】

平日のみの開講。
日程調整のため履修登録前に必ず担当者に連絡すること。

【学修の準備】

授業後に配布資料を読み、授業内容を復習する（120分）。また、教科書や参考書の該当箇所を熟読し、授業内容の理解を深める（120分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、リハビリテーション専門職としての倫理的責任および社会的責任を深く自覚し、対象者や社会に対して誠実かつ適切に対応できる資質を身につける、というリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。